

令和4年度「理数数学Ⅰ(数学A分野)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
1	理数科	理数	理数数学Ⅰ	6	必修
教科書	高等学校数学A(数研出版)				
副教材	新課程 チャート式 基礎からの数学Ⅰ+A(数研出版) 新課程 教科書傍用 4プロセス 数学Ⅰ+A(数研出版)				

学習の目的

- 1 場合の数と確率, 図形の性質または整数の性質について理解する。
- 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察する能力を培う。
- 3 数学のよさを認識できるようにするとともに, それらを活用する態度を育てる。

学習の目標

		評価の割合
I 知識・技能	授業に主体的に参加し, 各単元における基礎的な知識を習得し, 理解できている。	4
C 思考・判断・表現	基本的な概念, 原理・法則の意味を理解し, 活用したり説明したりすることができる。	3
E 学びに向かう力・人間性等	数学的に考えることに興味をもち, いろいろな角度から考えることができる。	3

つ け たい 力	みつめる力	習得した内容を活用できる。
	きわめる力	数学的論拠に基づいて考えたり, 仮説を立てたりして問題を解く。
	つなげる力	日常の事象につなげ, 課題を解決をしようとする。

評価方法

	I	C	E
◇ 定期考査、課題考査等	○	○	
◇ 課題・提出物の状況(日々の演習、週末課題、定期考査や模試のやり直し、長期休暇における課題)		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ (予習について)
教科書の「例」や「例題」を参考に、「練習」問題を解いて授業に臨んでください。わからなかった部分を把握しておいてください。
- ◇ (授業について)
予習でわからなかった部分をよく聞くようにしてください。自分の考えを周囲の人に説明する、または周囲の人の考えを聞く、ということを意識してください。
- ◇ (課題について)
日々の演習、週末課題、長期休暇の課題は提出期限を必ず守ってください。参考書を見ながら取り組んでください。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I : 知識理解	C : 思考判断表現	E : 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	○場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。			○	○	○
	5			中間考査		○	○	○
	6	第2節 確率		期末考査		○	○	○
	7					○	○	○
第2学期	9	第2章 図形の性質 第1節 平面図形	○平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間考査		○	○	○
	10	第2節 空間図形				○	○	○
	11			期末考査		○	○	○
	12					○	○	○
第3学期	1	第3章 数学と人間の活動	○さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できるように力を培う。			○	○	○
	2			期末考査		○	○	○
	3							

※行事等に変更になる場合があります。